



鎌田地区
令和8年3月1日現在
総人口 19,804人
(前年比 -125人)
世帯数 9,681戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

4月1日から自転車に新ルール



自転車の違反に
青切符(交通反則通告制度)導入される

2月12日、松本交通安全協会鎌田支部主催・鎌田地区公民館共催の「自転車新ルール講座」が午前中と夜の2回開催されました。鎌田地区公民館大会議室とリモートで繋がれた井川城中区公民館会場には、あわせて55人もの参加者があり関心の高さが高まりました。

講師の松本警察署交通安全第二課青木係長の話では、昨年度の長野県内の交通事故の状況は、県全体では発生件数や死者数・負傷者数は減ったものの、二輪車事故や横断歩道上での事故が多くなっており、松本署管内では、死亡事故が増加したとのことでした。

その松本署管内での昨年度の自転車事故は112件を数え、106人が死傷しています。これは県内所轄中で最多でしたが、年代別にみると高校生の事故が突出していて、30%を占めます。その事故の65%が交差点で発生し、49%が出合い頭の事故だったそうです。



努力義務となつていっているヘルメットの着用については、昨年度、長野県の着用率はまだ39%程度で、全国第6位の状況でした。高校生の着用率が向上している一方で、大人に未着用が多いのが課題とのこと。未着用時の致死率は、着用時の1:

6倍にのぼります。みなさん、命を守るためにヘルメットをかぶりましょう！

4月1日からの新ルールでは、走行時の携帯電話やイヤホンの使用、一時不停止や無灯火のほか、右側通行や並進(横並び走行)、歩道通行等々の交通反則について、16歳以上に「青切符」が導入され、違反に対して3千円から1万2千円の反則金が課せられます。(詳しくは「広報まつもと2月号」また、重大な違反である自転車での飲酒運転については、自動車運転免許の停止処分を受ける場合もあるといえます。

「乗れば車両/降りて押せば歩行者」という自転車の利用特性を自覚した上で、ルールに則って安全に活用していきたいものです。



街かどの話題 157 見通しが良くなったぞ

みなさんお気づきでしょうか？奈良井川の立木がなくなりました。

奈良井川改良事務所へお聞きしたところ「奈良井川、田川、女鳥羽川、薄川の河川の維持工事や改良工事を行っています。維持工事では治水上影響のある所を優先的に対応していますが、今回の奈良井川は治水上の影響よりも、民地側への倒木や害虫による周辺住民への被害を確認したため、緊急的に工事を実施しました」とのことでした。

見通しがよくなると、心も晴れやかになりますね。

..... 月見橋下流右岸



伐採前

伐採後

キラリ☆
かまだびと 15

教えた生徒は
一万人を超えました

かつゆき
松本 捷幸さん
(両島町会)



職業訓練振興功労者として公民館報編集委員、松本捷幸氏が長野県職業能力開発協会より表彰されました。

一般社団法人中部労働技能教習センター講師として建設機械、フォークリフト、その他数種類の機械の運転資格取得に必要な学科を19年間担当しました。働くみなさんの安全作業について災害事例を取り入れて分かり易い講習を心がけ、運転資格取得研修に現在も貢献しています。

民生委員・児童委員が 新体制になりました

◆民生委員・児童委員とは

「民生委員」は厚生労働大臣から委嘱され、自らも地域住民の一員として、生活に関する困りごとの相談や支援を必要とする方と行政機関とのパイプ役を担っています。「児童委員」は地域の子どもたちが安心して暮らせるように相談や支援を行っています。すべての民生委員は児童委員を兼ねており、さらに一部の児童委員は、児童福祉を専門的に担当する「主任児童委員」として活躍されます。

令和 7 年 12 月に民生委員・児童委員が交代し、18 名が新任、11 名が継続となりました。任期は令和 10 年 11 月までの 3 年間で。

◆地域の身近な相談相手

非常勤特別職の公務員である民生委員・児童委員は医療や介護の悩み、妊娠・子育ての不安などの相談を受けたり、高齢者や障がいのある方、児童への声かけや見守り活動を幅広く行っています。

◆地域のみなさまへ

民生委員・児童委員による、安心して暮らせる地域づくり活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

上條 美紀 (中条南・中条町)

☆小坂 美紀 (井川城中区)

☆田中 英子 (井川城中区)

☆野 浩子 (井川城中区)

☆長島由利子 (井川城下区)

☆小林 明美 (鎌田)

☆荒田まゆ美 (鎌田)

鎌倉 典代 (両島)

百瀬 恵子 (両島)

◎牛山 喜嗣 (笹部)

☆大谷 良子 (笹部)

☆牛山加代子 (笹部)

☆木藤 辰男 (征矢野)

☆木藤多恵子 (征矢野)

☆横林やえみ (征矢野)

☆高山真由美 (高宮)

○小川 直子 (高宮)

☆伊藤 和夫 (高宮)

◇原 幸江 (高宮)

☆嶋口 恭子 (石芝町)

☆下田 町子 (石芝町)

☆水野 建二 (夏之東・昭和町)

☆保坂由貴子 (月見町)

□砂原千鶴子 (五月町)

☆丸山 正幸 (南原町)

☆竹内 君江 (南原町)

☆折井三喜江 (南原町)

▽藤田 友美 (井川城下区)

☆小山 智子 (笹部)

順不同・敬称略

◎会長 ○副会長 ◇会計

□庶務 ☆新任 ▽主任児童委員

人権学習ハス研修

満蒙開拓平和記念館と天龍峽大橋を訪ねて

鎌田地区人権啓発推進協議会は 2 月 13 日にバス研修を行い、参加者 22 人が満蒙開拓平和記念館 (阿智村) を訪れました。

戦前、中国東北部には旧日本陸軍が実権を握る満州国が 13 年間で存在しました。満蒙開拓団は同地に送り出された 27 万人の農業移民のことです。世界恐慌下で困窮する農山村の人減らしと、軍の食糧増産、警備をなす国策として行われました。長野県、特に下伊那地域からの参加は多く、阿智村に記念館が建てられたの

はこうした背景によります。館内では満蒙開拓の歴史を、時系列でテーマごとに写真や映像、ジオラマ、葉書や証言などの多彩な資料で紹介しています。満州に渡った人々の思い、敗戦後の悲惨な逃避行、残留孤児など戦後に続く苦労をたどることが出来ます。

小中高生も県内外から多く訪れていて、若い世代が満蒙開拓の歴史を学び、平和な社会を築こうとする姿に希望をもちました。

帰りに立ち寄った天龍峽大橋は車道の下に遊歩道が付けられていて、高さ 80m から

の絶景を楽しむことが出来ました。



満蒙開拓平和記念館にて



あがたの森公園の日本庭園は、心が安らぐ庭である▼池にかかる橋から、借景となつてゐる美ヶ原の山を望むと、同じ方向に水が湧き出ている築山がある。池の水が、あたかも遠くから流れて来たかのように思われる▼湧き出た水は、すぐに 3 段の滝となる。深山幽谷の景観で、夏には涼を感じる。せせらぎの石は、下流のものほど小さくなるように配置され、自然の川を思わせる。ゆるやかに曲がるところは、悠々と行く大河のようだ。流れの途中には段差がつくられていて、水音を楽しめる。川幅があるところでは、流れが一樣に広がるように設計され、水がきらめき、洗われた小石がすがすがしい▼橋のたもとにもどり池を見渡す。せせらぎが池に落ちる付近に宝船を模した舟石があり、あづま屋の前には長寿を願う亀島がある。亀が向かう先には、円すい台形の白い石。仙人が住み、不老長寿の薬があるという蓬萊山だろうか▼時折、鯉の跳ねる音が聞こえて、あたりは静かである。池の周りの多くの石が、諸仏のように見守っている。(五十嵐一雄)

雑感